

## 別表1 環境への負荷の自己チェックシート

### 1. 事業の規模

#### 1-1. 活動規模

活動規模	単位	年	年	年
工事等の件数	件			
売上高	百万円			
従業員	人			
事務所床面積	m <sup>2</sup>			
倉庫床面積	m <sup>2</sup>			
資機材置場面積	m <sup>2</sup>			
工場・作業所等床面積	m <sup>2</sup>			
( )	( )			

○この表は全社を想定していますが、支店や営業所等がある場合は、表を追加して記入してください。

## 1-2. 建設現場等の概要及び件数

### <元請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容	環境配慮事項 (CO <sub>2</sub> 排出予想量)	使用建機等	公共・民間
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				

### <下請工事・業務等>

工事・業務等の名称	規模(金額)	内容	環境配慮事項	使用建機等	公共・民間
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				
	件				
	百万円				

○規模が比較的大きな建設現場(元請工事金額5,000万円以上が一つの目安)は、工事毎に記入してください。

○上記の規模以下の建設現場は、同種の工事等をまとめて名称及び件数と合計金額を記入してください。

○内容の欄には、主な工種や作業内容(例:土工、コンクリート工、水路工、舗装工、戸建住宅新築工事、工場増築工事、協同住宅設計、橋梁上部設計、測量調査)等を記入してください。

○環境配慮事項の欄には、工事の内容から必要とされる建設現場等周辺への環境配慮事項を記入してください。

また、規模が比較的大きな建設現場(元請工事金額5,000万円以上が一つの目安)は、二酸化炭素の排出予想量を記入してください。

○使用建機等の欄には、工事現場で使用する主な建設機械(建機)や設備機器等を記入してください。

○公共・民間の欄には発注元が、公共であるか民間であるかの別を記入してください。公共の場合には○を付けてください。

## 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

環境への負荷		単位	年	年	年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>			
	( )	kg-CO <sub>2</sub>			
	( )	kg-CO <sub>2</sub>			
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t		
		( )	t		
		最終処分量	t		
		再資源化率	%		
	産業廃棄物	再資源化量	t		
		( )	t		
最終処分量		t			
再資源化率	%				
③-1 総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>			
	下水道	m <sup>3</sup>			
③-2 水使用量	上水	m <sup>3</sup>			
	工業用水	m <sup>3</sup>			
	地下水	m <sup>3</sup>			
④ 化学物質使用量		kg			
		kg			
		kg			
⑤ エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ			
	化石燃料	MJ			
	新エネルギー	MJ			
	その他	MJ			
⑥ 資源等使用量	資源使用量	t			
	循環資源使用量	t			
⑦ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等	t			
	環境負荷低減に資する製品等	t			

- ①温室効果ガス排出量（二酸化炭素）、②廃棄物排出量、③-1 総排水量、④化学物質使用量、⑥資源等使用量は必須項目です。  
 なお、総排水量の把握が困難な場合には、③-2 水使用量が把握必須項目となります。
- 各指標の値については次頁以降の集計結果を記入してください。
- ⑦総製品生産量または総商品販売量について、「製品」は、工場・プラント等で製造された品物を意味し、「商品」は、設備工事等で設置し販売する設備機器等売買の目的物としての品物を意味します。  
 したがって「商品」には、「製品」や「サービス」等も含まれます。

### 3. 指標毎の取りまとめ

① 温室効果ガス排出量（必須項目である二酸化炭素排出量のみ掲載）

年(      年 月 ~      年 月)

		単位	消費量 (A)	排出量 (kg-CO <sub>2</sub> ) (A×B) or (A×B×C)	割合	排出係数 (B)	単位発熱量 (C)	
二酸化炭素排出量	購入電力	kWh				※ <sup>(注)</sup> (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)		
	建設現場等の購入電力	kWh				※ <sup>(注)</sup> (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)		
	エネルギー消費	化石燃料	灯油	L	0		0.0679 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	36.7 (MJ/l)
			建設現場等の灯油	L	0		0.0679 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	36.7 (MJ/l)
			A重油	L	0		0.0693 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	39.1 (MJ/l)
			都市ガス	Nm <sup>3</sup>	0		0.0499 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	44.8 (MJ/Nm <sup>3</sup> )
			液化天然ガス(LNG)	kg	0		0.0495 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	54.6 (MJ/kg)
			液化石油ガス(LPG)	kg	0		0.0591 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	50.8 (MJ/kg)
			建設現場等のLPG	kg	0		0.0591 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	50.8 (MJ/kg)
			ガソリン	L	0		0.0671 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	34.6 (MJ/l)
			建設現場等のガソリン	L	0		0.0671 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	34.6 (MJ/l)
			軽油	L	0		0.0686 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	37.7 (MJ/l)
			建設現場等の軽油	L	0		0.0686 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	37.7 (MJ/l)
			<b>化石燃料 小計</b>				0	0.00
	その他	その他	熱供給(蒸気)	MJ	0		0.057 (kg-CO <sub>2</sub> /MJ)	
					0			
			<b>その他 小計</b>				0	
	<b>エネルギー消費 計</b>				0	0.00		
	産廃	その他	廃油	t	0		2920 (kg-CO <sub>2</sub> /t)	
			廃プラスチック	t	0		2550 (kg-CO <sub>2</sub> /t)	
<b>廃棄物焼却処理 計</b>					0	0.00		
その他	その他			0				
		<b>その他 計</b>				0	0.00	
<b>二酸化炭素排出量合計</b>				0	100.00			

(注) 購入電力の排出係数については、国が公表する電気事業者毎の排出係数を用いて算定してください。

※平成21年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数：

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13319>

○網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。

○LPGの消費量を気体(m<sup>3</sup>)として把握している場合については「1m<sup>3</sup>=2.07kg」として換算してください。

○「産廃」については、自らが焼却または製品及び燃料として使用した場合に限ります。

○上記に該当しない項目で多量に投入しているエネルギーがある場合には、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルver3.1」(環境省/経済産業省)を参照して、排出量を算出してください。

○「メタン」「一酸化二窒素」「ハイドロフルオロカーボン類」「パーフルオロカーボン類」「六フッ化硫黄」については、「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルver3.1」(環境省/経済産業省)を参照し、各々の事業者にあった集計表を作成してください。

※温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル：

<http://www.env.go.jp/earth/ghg-santeikohyo/manual/index.html>

② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量

年( 年 月 ~ 年 月)

内訳	項目	排出量(t)		最終処分量(t)	再資源化率(%)	
		再資源化量	( )			
廃棄物排出量	一般廃棄物(事務所系ごみ等)	コピー用紙				
		段ボール				
		その他の紙				
		その他の可燃ごみ				
		その他の不燃ごみ				
		<b>一般廃棄物合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0.00%</b>
		産業廃棄物(建設副産物等)	コンクリート塊			
	As・Co塊					
	建設発生木材					
	建設汚泥					
	建設混合廃棄物					
	汚泥					
	廃プラスチック					
	金属くず					
	紙くず					
	繊維くず					
	廃油					
	特別管理		廃油			
		廃PCB等				
	廃石綿等					
<b>産業廃棄物合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0.00%</b>		

項目	発生量(t)	再使用量(t)	ストック量(t)	埋立等処理量(t)	有効利用率(%)
建設発生土					

- (注)建設副産物の一つで、建設工事から搬出される土砂であり、廃棄物処理法に規定する廃棄物には該当しません。  
 建設発生土には(1)土砂及び専ら土地造成の目的となる土砂に準ずるもの、(2)港湾、河川等の浚渫に伴って生ずる土砂(浚渫土)、その他これに類するものがあります。  
 一方、建設工事において発生する建設汚泥は、廃棄物処理法上の産業廃棄物に該当します。  
 ○網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。  
 ○表頭の排出量のうち再資源化量については、再資源化を自ら行う量及びリサイクルを目的に処理業者へ委託する量を記入してください。  
 また、再資源化以外の処理量については、処理方法等の実状に合わせて括弧内に内訳を記入してください。  
 ○廃棄物における再資源化率については、以下の式から算出してください。  

$$\text{再資源化率} = \frac{\text{再資源化量}}{\text{再資源化量} + \text{再資源化以外の処理量} + \text{最終処分量}}$$
  
 ○表側の分類はあくまでも例です。空欄には、その他排出されている廃棄物の種類を記入してください。  
 ○建設発生土における有効利用率については、以下の式から算出してください。  

$$\text{有効利用率} = \frac{\text{再使用量} + \text{ストック量}}{\text{発生量}}$$

③ 総排水量及び水使用量

③-1 総排水量

年(      年      月 ~      年      月)

		単位	実績(m <sup>3</sup> )	割合(%)
総排水量 (m <sup>3</sup> )	公共用水域	河川	m <sup>3</sup>	
		湖沼	m <sup>3</sup>	
		海域	m <sup>3</sup>	
		各種水路	m <sup>3</sup>	
		<b>公共用水域 計</b>	m <sup>3</sup>	0
	下水道	m <sup>3</sup>	0	
<b>総排水量合計</b>			0	100.00

○網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。

○再利用、処理等を行っていない雨水の排水については、対象外となります。

③-2 水使用量

年(      年      月 ~      年      月)

		単位	実績(m <sup>3</sup> )	割合(%)
水使用量 (m <sup>3</sup> )	上水	m <sup>3</sup>		
	工業用水	m <sup>3</sup>		
	地下水	m <sup>3</sup>		
	海水、河川水	m <sup>3</sup>		
	雨水	m <sup>3</sup>		
	<b>水使用量合計</b>		m <sup>3</sup>	0

○網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。

○製品の製造において原材料等として投入される水は、⑥物質使用量として把握してください。

○建設現場等で循環的に利用している量は対象外となります。



⑤ エネルギー使用量 (MJ)

年(      年      月 ~      年      月)

		単位	使用量・消費量 (A)	エネルギー量(MJ) (A×B)	割合 (%)	単位発熱量 (B)	
総エネルギー投入量	購入電力(新エネルギー除く)	kWh		0		9.83 (MJ/kWh)	
	建設現場等の購入電力	kWh		0		9.83 (MJ/kWh)	
	化石燃料	灯油	L		0		36.7 (MJ/l)
		建設現場等の灯油	L		0		36.7 (MJ/l)
		A重油	L		0		39.1 (MJ/l)
		都市ガス	Nm <sup>3</sup>		0		44.8 (MJ/Nm <sup>3</sup> )
		液化天然ガス(LNG)	kg		0		54.6 (MJ/kg)
		液化石油ガス(LPG)	kg		0		50.8 (MJ/kg)
		建設現場等のLPG	kg		0		50.8 (MJ/kg)
		ガソリン	L		0		34.6 (MJ/l)
		建設現場等のガソリン	L		0		34.6 (MJ/l)
		軽油	L		0		37.7 (MJ/l)
		建設現場等のガソリン	L		0		37.7 (MJ/l)
					0		
		<b>化石燃料 計</b>	<b>MJ</b>		0	0.00	
	新エネルギー	太陽光	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		太陽熱	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		風力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		水力	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		燃料電池	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
		廃棄物	kWh		0		3.6 (MJ/kWh)
					0		3.6 (MJ/kWh)
		<b>新エネルギー 計</b>	<b>MJ</b>		0	0.00	
	その他	熱供給(蒸気)	MJ		0		
					0		
		<b>その他 計</b>	<b>MJ</b>		0	0.00	
	<b>エネルギー使用量合計</b>		<b>MJ</b>		0	100.00	

○網掛けの項目が「取りまとめ表」にある項目になっています。

○エネルギー量は、燃料使用量・消費量に単位発熱量を乗じて(燃料使用量・消費量×単位発熱量)求めてください。

○上記に該当しない項目で多量に投入しているエネルギーがある場合には、単位発熱量を調べて、空欄を設けて記入してください。

○LPGの消費量を気体(m<sup>3</sup>)として把握している場合については 1m<sup>3</sup>=2.07kgとして換算してください。

○製品の製造において原材料等として投入される石油、石炭等は、総物質投入量として把握してください。



⑥ 資源等使用量

年(    年    月    ~    年    月 )

		実績(t)	割合(%)
資源等使用量	資源の種類		
		<b>資源使用量 計</b>	0
	循環資源		
		<b>循環資源使用量 計</b>	0
	その他		
		<b>その他 計</b>	0
	<b>資源等使用量合計</b>		0

- 例:資材(資源)の種類  
(循環資源も同様)
- ・生コンクリート
  - ・アスファルト・コンクリート
  - ・碎石
  - ・砂
  - ・土砂
  - ・木材
  - ・鋼材(鋼材二次製品含む)
  - ・乳剤
  - ・塗料
  - ・接着剤
  - ・紙(用紙も含まれる)
  - 等
  - その他

- 網掛けの項目は「環境への負荷の状況(取りまとめ表)」に記載された項目になっています。
- まずは主要な物質から把握してください。資源等使用量は、重量(単位はt)で把握してください。
- 製品の製造において原材料等として使用される水や石油等は、資源等使用量として把握してください。
- 事業者内部で循環的に利用(再使用、再生利用、熱回収)している物質は対象外となります。

⑦ 総製品生産量または総商品販売量

※設備工事業等商品販売を伴う場合、その他工場やプラント等を有する建設業者は把握します

年(      年    月 ~    年    月)

		製品等名		単位	実績
		総製品生産量または総商品販売量	製品	重量	
	t				
	t				
	t				
	t				
	製品または商品重量合計		t	0	
環境負荷低減に資する製品または商品	重量			t	
				t	
				t	
			環境負荷低減に資する製品または商品重量合計		t
	重量以外				

- 生産量または販売量のいずれかを把握してください。
- 網掛けの項目は「環境への負荷の状況（取りまとめ表）」に記載された項目になっています。
- 総製品生産量または総商品販売量のいずれかを把握してください。

### 様式3-2(記録) 環境への取組の自己チェックリスト

作成日: 年 月 日 作成者:

- ・追加する取組がある場合には、それぞれの項目の下の空欄に取組の内容を記入してください。
- ・関連する取組については、左の欄に「1」を入力してください(関連する取組についてののみ)。
- ・重要度の欄に、重大「3」、かなり「2」、多少「1」を入力してください。
- ・取組の欄に、既に取り組んでいる「2」、さらに取組が必要「1」、取り組んでいない「0」を入力してください。

総合結果 

0	/	0
---	---	---

#### 1. 事務所及び建設現場等の事業活動へのインプットに関する項目

大項目結果 

0	/	0
---	---	---

##### 1) 省エネルギー

中項目結果 

0	/	0
---	---	---

##### ①エネルギーの効率的利用及び日常的なエネルギーの節約

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・施工方法や作業方法を見直し、エネルギーの効率的利用をしている			-
	・既存の工法を変更し、エネルギーの消費を抑えている			-
	・使用機械を大型化する等効率的の使用から見直し、エネルギーの消費を抑えている			-
	・建設現場の作業規模に応じた建設機械等の種類や規格を用いることでエネルギーの消費を抑えている			-
	・アクティビティやアロー、フロート等を見直し、施工期間を短縮している			-
	・生コンクリートの打設等、気温や湿度、天候、季節に左右される工種は、最適時期に施工するよう工程を変更している			-
	・運搬計画を見直し、エネルギー消費の少ない運搬を行っている			-
	・情報化施工の導入を図っている			-
	・事務所、工場・作業所等の照明は、昼休み、残業時等不必要な時は消灯している			-
	・ロッカー室や倉庫、作業休憩所、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯して			-
	・パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている			-
	・夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切っている			-
	・エレベーターの使用を控え、階段を使用するよう努めている			-
	・空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)を徹底している			-
	・空調を必要な区域や時間に限定して使用している			-
	・使用していない部屋の空調は停止している			-
	・ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節している			-
	・夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)をして、冷暖房の使用を抑えている			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてののみ「1」を入力してください。

##### ②建設機械及び設備機器等の適正管理

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けないようにしている			-
	・建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止している			-
	・建設機械等は、定期的自主点検他、施工開始時等に点検を実施している			-
	・建設機械等の整備は、環境に配慮した整備を行っている			-
	・建設機械等の過積載が行われないよう徹底している			-
	・建設機械等に使用する燃料やオイルは、環境に配慮した製品を使用している			-
	・建設設備機器は無駄や無理のない運転を行っている			-
	・電力不要時には、負荷遮断、変圧器の遮断を行っている			-
	・照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している			-
	・空気圧縮機については、必要十分なライン圧力に低圧化している			-
	・冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内の熱を有効利用している(予冷や予熱時には外気の取り入れをしていない)			-
	・外気温度が概ね20~27度の中間期は、全熱交換器(換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備)のバイパス運転(普通換気モード、中間期制御運転、熱交換ローター停止)を行っている。または、窓の開閉等により外気取り入れ量を調整して室温を調節している			-
	・冬季以外は給湯を停止している			-
	・エレベーターの夜間、休日の部分的停止等を行っている			-
	・共用のコンピューター等の電源については、管理担当者や使用上のルールを決める等、適正に管理している			-
	・空調機については、フィルターの定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてののみ「1」を入力してください。

##### ③設備の入替・更新時及び施設の改修にあたっての配慮

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設機械等や空気圧縮機、発電機、ボイラー等のエネルギー供給設備については、新規購入及び更新時には省エネルギー型機器を導入している			-
	・換気の際に屋外に排出される熱を回収して利用することのできる全熱交換器を採用している			-
	・従来機との比較でCOPの高いヒートポンプエアコンを採用している			-
	・天然ガスを利用した空調システム等の省エネルギー型空調設備を導入している			-
	・天井埋込形エアコンの吹き出しにファン等を付けて、風を攪乱させる装置を導入している			-
	・給湯設備の配管等を断熱化している			-
	・従来の変圧器より電力損失の少ない高効率変圧器を採用している			-
	・地域冷暖房(地域熱供給)システムを利用している			-
	・コピー機、パソコン、プリンター等のOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している			-
	・蛍光灯照明器具の安定器をインバーター式に交換している			-
	・高効率蛍光灯等の省エネルギー型照明器具に切り替えるようにしている			-
	・昼間の太陽光や人の存在を感知し、必要時のみ点灯する設備を採用している			-
	・あらかじめ設定された時刻や時間帯に、照明の箇所や照度等を自動制御するシステムを導入している			-
	・屋根、壁、床等に断熱材を採用している			-
	・複層ガラス、二重サッシ等を採用し、建物の断熱性能を向上させている			-
	・熱線吸収ガラス、熱線反射ガラスを採用し、日射を遮断している			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてののみ「1」を入力してください。

2) 省資源

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・出来型管理の基準に上乘せして、より高い精度の自主基準を設定している			-
	・資源が有効に利用できるよう同種の工事や施工が、同時期に行える配慮をしている			-
	・資材発注時に、設計図書等を再チェックし、残余資材の発生を防止している。			-
	・施工に合わせたスプレーガンの利用で塗料や洗浄剤等の使用量を抑制している			-
	・仮設材等を再利用し、長期的有効利用できるよう配慮している			-
	・発生した残余資材を再使用できるよう配慮している			-
	・会議用資料や事務書類の簡素化に取り組んでいる			-
	・社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組んでいる			-
	・打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる			-
	・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮して			-
	・両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底している			-
	・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫している			-
	・使用済み封筒を再利用している			-
	・コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤りを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 水の効率的利用及び日常的な節水

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等（道路路面への散水等）や資機材置場で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水利用）			-
	・舗装工事の舗装で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水等を利用している			-
	・街路樹や公園緑化の植栽工事で使用する散水用の水は、排水路の水や雨水等を利用している			-
	・バルブの調整により水量及び水圧の調節を図っている			-
	・冷温水発生機、クーリングタワー等の稼働に伴い使用される水の量が適正に保たれるよう設備の管理を行っている			-
	・雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設定等により、雨水利用を行っている			-
	・雨水を地下浸透させる設備（浸透升等）を導入している			-
	・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している			-
	・建設機械等の洗車には、排水路の水や雨水等を利用している			-
	・建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行っている			-
	・社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している			-
	・洗車等に使用するホースの先には、ストッパーを付けている			-
	・トイレに水流し音発生器を取り付ける等、トイレ用水を節約している			-
	・蛇口に節水こま（適量の水を流す機能を持つこま）を設置している			-
	・水道配管からの漏水を定期的に点検している			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) 化学物質使用量の抑制及び管理

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等で使用する有害性の化学物質は、流出防止対策を徹底している			-
	・建設現場等で使用する有害性の化学物質の拡散防止対策を徹底している			-
	・燃料油、溶剤、塗料等の揮発を防止する等、VOCの排出抑制に取り組んでいる			-
	・接着剤、防水剤、塗料等に含まれる有害性の化学物質の削減に取り組んでいる			-
	・建設現場等で使用する化学物質は、生分解性等の環境にやさしい製品の使用促進を行っている			-
	・建設現場等における化学物質は必要最小限の使用量とし、保管は原則行わないようにしている			-
	・有害性の化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録・管理している			-
	・有害性の化学物質の排出量の計測、推定等を行っている			-
	・有害性の化学物質の表示を徹底している			-
	・化学物質の安全性に関する情報伝達のため、MSDS（化学物質安全データシート）により管理している			-
	・有害物質の保管容器等の保守・点検を定期的に行う等適正管理に努めている			-
	・屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる			-
				-
				-

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

**2. 事務所及び建設現場等の事業活動からのアウトプットに関する項目**

大項目結果 0 / 0

**1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止**

中項目結果 0 / 0

**① 温室効果ガスの排出抑制**

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・低炭素型建設機械の導入を図っている			—
	・燃料消費の少ない施工方法や作業方法を採用している			—
	・施工方法や作業方法によって、燃料消費の少ない建設機械等や設備機器を選定している			—
	・燃料消費の少ない工法への変更に取り組んでいる			—
	・燃料消費の少ない建設機械等や設備機器の組み合わせを推進している			—
	・燃料消費の少ない運搬経路や資材搬入経路を検討し、採用している			—
	・建設車両のタイヤ空気圧の適正維持を行っている			—
	・建設機械等の省エネ運転を推進している			—
	・建設機械等のアイドルストップを行っている			—
	・国土交通省の建設施工における地球温暖化防止の手引きに従い、取り組んでいる			—
	・情報化施工による低燃費施工の導入を図っている			—
	・製品購入の際には、できるだけHFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）等を使用していない製品を選ぶように配慮している			—
	・HFC（ハイドロフルオロカーボン）、PFC（パーフルオロカーボン）、SF6（六フッ化硫黄）等を使用している製品を廃棄する際の回収に努めている			—
	・都市ガス、灯油等の環境負荷の少ない燃料を優先的に購入、使用している			—
	・燃料電池システムを導入している			—
	・太陽光発電設備を導入し、太陽エネルギーを電気として利用している			—
	・太陽熱温水器等を導入し、加熱した水を暖房や給湯に利用している			—
	・マイクロ水力（発電規模100kW程度以下の水力発電）を導入している			—
	・カーボン・オフセットに取り組んでいる商品やサービスを購入または使用している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

**② 大気汚染物質の排出抑制**

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・排出ガス対策型建設機械の導入を図っている			—
	・排出ガス低減効果のある燃料やオイルを使用する			—
	・建設機械等の定期的自主点検の他、施工開始時等に点検を実施する			—
	・大気汚染の少ないプロセスや機器（低NOx燃焼機器等）を採用している			—
	・日常的に大気汚染防止への配慮（燃焼管理等）を行っている			—
	・大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その遵守に努めている			—
	・粉じん、ばい煙等の監視及び測定や粉じん、ばい煙処理設備の点検を定期的に行う等、適正に管理している			—
	・特定フロン回収、適正処理を行っている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

**2) 廃棄物（建設副産物等）の排出抑制、リサイクル、適正処理**

中項目結果 0 / 0

※建設副産物の再資源化については、「建設廃棄物の3R、適正処理が地球を守ります」  
 （財団法人産業廃棄物処理事業振興財団<http://www.sanpainet.or.jp/>）や、  
 建設副産物リサイクル広報推進会議ホームページ<http://www.suishinkaigi.jp/index.html>  
 等が参考となりますので活用してください。

**① 廃棄物の発生そのものを抑える取組**

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・施工管理の出来型管理計画時に、設計基準に上乗せした自主基準を設けて、生コンクリートやアスファルト・コンクリートの廃棄を抑制している			—
	・建設資材発注時に使用量を再チェックし、残余建設資材の廃棄を抑制している			—
	・施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理を徹底している			—
	・品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底している			—
	・使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制している			—
	・リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶等）に入った製品を優先的に購入し、使用している			—
	・再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している			—
	・詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用を進めている			—
	・コピー機、パソコン、プリンター等について、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している			—
	・商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している			—
	・OA機器等の故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

**② リサイクルの促進**

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等で発生する建設副産物の再利用率向上のため工夫をしている（建設発生木材のチップ化等建設資材として再利用している）			—
	・建設現場等で発生する廃棄物を混合廃棄物としないよう徹底している			—
	・建設現場等で発生する混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている			—
	・紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している			—
	・シュレッダーの使用を機密文書等に限る、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている			—
	・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている			—
	・発生したごみは可能な限り、圧縮等を行い、減量している			—
	・回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認している（委託業者等に対して）			—
	・食堂等における食べ残し、食品残渣等の有機物質については可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元、利用している			—
	・廃食用油のリサイクルルートを確認し、せっけん等への再利用を行っている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

③産業廃棄物等の適正処理

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行っている			—
	・廃棄物の最終処分先を定期的に、直接、確認している			—
	・メタン発生防止のため、生ごみ等の分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立処分を抑制している			—
	・廃棄物焼却の際、塩化ビニール等焼却に適さない物が混入しないよう徹底するとともに、ばい煙の処理、近隣環境への配慮等を行っている			—
				—
				—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 排水処理、水質汚濁等の防止

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・施工方法や作業方法を見直し、水質汚濁の少ない方法に変更している			—
	・水質汚濁の少ないプロセスや機械設備（濁水の回収・再利用等）を採用している			—
	・排水処理装置を適切に設置している			—
	・排水が閉鎖性水域（湖、内湾等）に流入する場合は、窒素及び磷の除去対策を講じている			—
	・オイルフェンスの設置等、排水の汚濁防止対策を行っている			—
	・有害物質や有機汚濁物質（生ごみ等）ができるだけ混入しないようにしている			—
	・水質汚濁等について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている			—
	・排水等の監視及び測定や排水処理設備の点検を定期的に行い、適正に管理している			—
				—
				—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4) その他生活環境に係る保全の取組等

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない時間帯での施工を行っている			—
	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討し、施工している			—
	・建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない工法を提案し、採用している			—
	・悪臭防止のため排出口の位置等の配慮を行っている			—
	・低騒音・低振動型建設機械等の使用、防音・防振設備の設置・管理等により騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視及び測定を実施している			—
				—
				—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3. 製品及びサービスに関する項目

大項目結果 0 / 0

1) グリーン購入（環境に配慮した物品等の購入、使用等）

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・環境に配慮した物品等の調達に係る方針、基準等を作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づく購入を行っている			—
	・再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を購入している			—
	・環境ラベル認定等製品を優先的に購入している			—
	・省エネルギー基準適合製品を購入している			—
	・再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している			—
	・間伐材、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入、使用している			—
	・無漂白製品（衣料品等）、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している			—
	・修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用して			—
	・節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に購入している			—
	・コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレットペーパー、名刺			—
	・木材の調達にあたり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮したり、または跡地			—
	・社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公			—
				—
				—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 施工・販売・提供する製品及びサービスにおける環境配慮

中項目結果 0 / 0

①設計、計画等における取組

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等の事前環境調査の実施及び対策を実施している			—
	・環境配慮型工法の採用や環境配慮型施工の提案をしている			—
	・建設現場等周辺の自然との共生と調和を指向している			—
	・建築物・工作物等の長寿命化を指向している			—
	・建築物・工作物等の使用過程でのエネルギーの削減と省資源化を指向している			—
	・再生資源の積極的利用に取り組んでいる			—
	・リサイクルしやすいよう、建築物・工作物の構造を指向している			—
	・有害性の化学物質の含有量が少ない資材の使用を指向している			—
	・塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換を行っている			—
	・購入する資材の仕様を変更し、端材等の削減に取り組んでいる			—
	・敷地内、壁面、屋上等の緑化を指向している			—
	・地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全について指向している			—
	・環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化への取組を指向している（合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等）			—
	・環境にやさしい施工や工法を採用している			—
				—
				—

↑関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②出荷、運搬、輸送等における取組

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いを励行している			—
	・エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）を励行している			—
	・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値（メーカー指定の空気圧）を保つように努めている			—
	・排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている			—
	・共用自転車を導入して、近距離の用務には社用車を使用せず、自転車を利用するように努めている			—
	・公共交通機関の利用等により、社用車の使用削減に努めている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

③製品の回収・リサイクル

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・使用後の製品、容器包装等の回収・リサイクルに取り組んでいる			—
	・フロン類の漏洩防止のための留意点等、製品に関する環境への負荷を低減するための消費者への情報提供を行っている			—
	・消耗品の回収箱等を店頭に設置する等、その回収・リサイクルに取り組んでいる			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

④環境配慮型商品等の販売及び情報提供

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定等製品等を重点的に販売している			—
	・上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組んでいる			—
	・修理部品の長期的な確保に自主的に取り組んでいる			—
	・消費者等に環境配慮型商品に関する情報を積極的に提供している			—
	・製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログ等に表示している			—
	・販売の際に環境配慮型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行っている			—
	・外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があった場合、協力している			—
	・エコマーク及び自ら制定したマークや宣言等を製品やパンフレット等に表示している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

4. その他

大項目結果 0 / 0

1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組

中項目結果 0 / 0

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等及び周辺の自然環境の把握をしている			—
	・建設現場等及び周辺の生物多様性保全に取り組んでいる			—
	・調達する原材料（木材、鉱物等）の原産地を把握している			—
	・原材料の生産や採掘が、現地の生物多様性に悪影響を与えるものではないか、先住民の権利は尊重されているか等についての情報を得ている			—
	・調達する原材料について、認証品（森林認証、漁業認証等）の活用を指向している			—
	・地元の自然資源の積極的な利用を図り、地産地消を推進している			—
	・事業活動が生物多様性に与える影響を公表している			—
	・事務所及び建設現場等周辺の環境や生き物の保全活動（生息地の整備等）等を通し、事業活動を行う地域環境への配慮を行っている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

2) 環境コミュニケーション及び社会貢献

中項目結果 0 / 0

①環境コミュニケーション

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建設現場等周辺の自然環境等の状態を把握し、周辺地域の関係者に説明し、情報を共有する			—
	・建設現場等周辺の生物多様性保全の取組を、地域と協働して取り組んでいる			—
	・事業活動に伴う重要な環境負荷、環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先等を公表している			—
	・消費者等に対して、情報提供や啓発活動を行っている			—
	・外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている			—
	・ホームページ上で環境に関する情報を提供している			—
	・意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際に考慮している			—
	・外部関係者の意見を聴取する窓口を設けている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②社会貢献

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・事務所及び建設現場等周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる			—
	・環境に関する基金・団体の設置、既存の基金・団体を支援している（人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の端数を集めた寄付、広報活動への協力等）			—
	・環境関係の基金等へのマッチングギフト（従業員労働組合等の任意の寄付と同額の寄付を事業主として行うこと）を行っている			—
	・地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力や支援を行っている			—
	・環境に関する研究や活動を行っているサークル等に対する支援、または協働を行っている			—
	・環境に関連する表彰制度を実施している			—
	・大学に環境関係の寄附講座を開く等、研究機関への支援を行っている			—
	・敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている（大気浄化、都市気象の緩和にも資する）			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあたっての環境配慮

中項目結果 0 / 0

①設計者及び施工業者（工務店、建設会社等）への依頼・協力要請

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化等（合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等）を依頼している			—
	・周辺の自然環境（動植物等）への影響を最小限に抑える、もしくは修復する等環境に配慮した施工計画の提案を依頼している			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。

②既存建築物が及ぼす環境への影響を予防、低減するための方策

チェック	具体的な取組	重要度	取組	評価点
	・建築物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直しを行っている			—
	・建築物の耐久性の向上に取り組んでいる			—
	・排水設備のメンテナンス、吹き付けアスベストの管理（特に解体時の事前除去）等を行っている			—
				—
				—

↑ 関連する取組についてのみ「1」を入力してください。